

数学コンクール論文賞(2015)募集要項

21世紀の展望を開く若者の才能を発掘し、育成していくために、1990年から日本数学コンクールを、1997年からは併せて日本ジュニア数学コンクールを開催し、2000年から日本数学コンクール論文賞が設けられました。

1*

自由にゆったりと考える

論文はテーマの発表から締め切りまで約3ヶ月、ゆったりと考え、さらに、図書館やインターネットなどを利用して調べた特徴ある論文を期待します。

2*

楽しい数学の発見

学校教育、教科書にとらわれず、数学の本質に根ざした、考えて楽しいテーマを提供します。

3*

多彩な才能の評価

緻密な論証力、正確な計算力だけでなく、独自性のあるすばらしい発想や問題提起も高く評価します。

4*

人材の育成

入選論文のうち特に優秀なものは、数学コンクールフォローアップセミナーである数理ウェブで紹介されます。

数学は思考の冒険です!

一人でも多くの、数学に興味のあるみなさんの参加を期待します。
名古屋大学
日本数学コンクール委員会



論文募集要項

応募資格

- ◎日本数学コンクール論文賞
高校生(一般不可) ※共著論文も歓迎します。
- ◎日本ジュニア数学コンクール論文賞
中学生以下
※共著論文も歓迎します。ただし、共著者が全員中学生であること。

論文テーマ

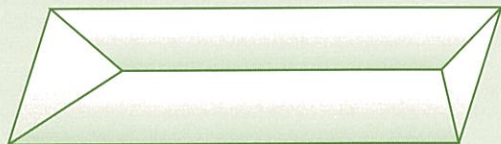
次の4つのテーマからどれか1つを選んで、論文にまとめてください。
(複数のテーマについての応募も可)

①「道路距離と直線距離」

二つの地点の直線距離と道路距離(道路に沿ったなるべく短いルート長さ)の比の平均を理論的に推測してください。

②「雪のテント」

吹雪の中で車を運転していると、雪がナンバープレート上に吹き付けられて、下図のようにテント状の雪の塊が見られることがあります。どのような原理に従って、このような立体が形成されるのかを考えてください。



③「自由課題」

自分自身、またはグループで取り組んだ、数学に関する内容を論文にまとめてください。

④「感想戦」

日本数学コンクールおよび日本数学ジュニアコンクールの参加者に限り、コンクールで出題された問題について、コンクール会場では思いつかなかったアイデアがあれば、コンクール終了後1週間以内に書きまとめて提出することができます。参加者同士であれば共著も認められます。

応募方法

論文はA4判たて置きとし、横書きとします。(用紙の上下左右に20mmの余白)
数式は文章と行を改めて書いてください。
必要に応じて図を入れてもかまいません。
ホチキス止め、穴あけ、インデックス添付等はしないでください。

◎論文送付先

〒464-8601
名古屋市千種区不老町
名古屋大学社会連携課内
日本数学コンクール係

※応募者の連絡先を明記すること。

[住所、氏名(フリガナ)、学校名、学年、電話、E-mail]

※ご応募いただいた論文はご返却できません。

締め切り

平成27年9月15日(火) 消印有効

(④についてはコンクール後1週間以内とします)

表彰式

表彰は数学コンクール表彰式当日に行い、最優秀論文に対しては日本数学コンクール論文賞、日本ジュニア数学コンクール論文賞ともに数学コンクール大賞と同等の記念品および賞品を贈呈します。優秀論文に対する表彰も数学コンクールに準じます。

表彰式は平成27年11月3日(火・祝)に野依記念学術交流館で行います。

論文賞に関する問い合わせ先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学社会連携課内
日本数学コンクール係
電話: 052-747-6484
時間: 9:00~17:00(土・日・祝日除く)

【日本数学コンクールホームページ】
<http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/public/math-con/>